

教 員 個 人 調 書 (記入例)

履 歴 書			
フリガナ	ヤマダ (山田) タロウ		性別
氏 名	山田 (田中) 太郎		(男 ・ 女)
国 籍	※外国人のみ	月額基本給	※記入しないでください千円
生年月日 (年齢)	昭和〇年〇月〇日 (満〇歳)		
現 住 所	(住所) 〒 (電話) (E-Mail)		
写真貼付 縦 4cm×横 3cm			
学 歴			
年 月	事 項		
昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学		
昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業 〇〇学士		
昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程入学		
昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程修了 〇〇学修士 (第〇〇〇号) 学位論文題目: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士課程入学		
昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士課程単位取得後退学		
昭和〇〇年〇〇月	〇〇学博士 (第〇〇号) の学位を授与 (〇〇大学) 学位論文題目: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
職 歴			
年 月	事 項		
昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 助手 (昭和〇〇年〇月まで) 担当授業科目: 〇〇論等		
昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 講師 (昭和〇〇年〇月まで) 担当授業科目: 〇〇論等		
昭和〇〇年〇〇月			
昭和〇〇年〇〇月	大学設置・学校法人審議会において、〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇専攻博士課程 准教授 (〇〇学、〇〇学特論、〇〇学演習担当) ㊦判定受ける		
昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学大学院〇〇学研究科担当 (〇〇学演習担当) (現在に至る) ※職歴は年月の空白なく記載してください。		
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等			
現在所属している学会	〇〇学会、〇▽学会、▽▽学会		
年 月	事 項		
昭和〇〇年〇〇月	〇〇学会正会員 (～現在に至る)		
昭和〇〇年〇〇月	〇〇学会理事 (～現在に至る)		
賞 罰			
年 月	事 項		
昭和〇〇年〇〇月	日本〇〇学会賞受賞		
現 在 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称	勤 務 状 況
〇〇大学	准教授	〇〇学部〇〇学科	〇〇概論、〇〇演習、〇〇特別講義
就 任 後 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称	勤 務 状 況
〇〇大学	兼 任	全学共通科目担当	〇〇概論 (1日/週)
上記のとおり相違ありません。			
平成 年 月 日			
氏 名 印			

重 要（必ずお読みください。）

1. 学歴、職歴、学会及び社会における活動等に誤りがないかどうか、確認してください。
2. 学歴の欄は、卒業年月順に、資格を取得した学校または大学の卒業から記載してください。
3. 学歴の欄で大学院修士課程修了者は、〇〇〇学修士（第〇〇号）または修士（〇〇〇学）（第〇〇号）と記載し、学位論文題目名を記載してください。
4. 学歴の欄で大学院博士課程修了者または学位取得者は、〇〇〇学博士（第〇〇号）の学位を授与（〇〇大学）または博士（〇〇〇学）（第〇〇号）の学位を授与（〇〇大学）と記載してください。さらに、学位論文題目名を記載してください。なお、平成 14 年度の取得から〇〇〇学修士・博士から博士・修士（〇〇〇学）と表記が変更となっています。ご確認ください。
5. 職歴の欄は、年月の空白がなく、必ず連続してつながるように記載してください。無職の場合、大学進学の場合も必ず記載してください。
6. 大学、短期大学又は専門学校で教員として勤務されていた方は、必ず担当授業科目を記載してください。
7. 大学、大学院で大学設置審議会の審査を受けて㊦判定がでている場合は、いつ受けて、何の担当授業科目が㊦になったのか、記載してください。
8. 大学、短期大学での専任教員の経験がなく、非常勤講師として大学、短期大学に授業に行っていた場合は、職歴の欄に記載してください。担当授業科目も必ず記載してください。
9. 現在の職務の状況の欄
 - （1）勤務先が大学・短期大学ではなく大学・短期大学の非常勤講師を兼任している場合は、非常勤講師での勤務先、職名、学部等又は所属部局名の名称、勤務状況（担当科目）を記載してください。